

## 令和5年度 第1回 政策調整会議 会議録②

- 
- ◆開催日時：令和5年5月9日（火） 10：20～10：50
  - ◆開催場所：第2委員会室
  - ◆出席委員：堤副市長、大下教育長、西川総合政策部長、残総務部長、寺本財務部長
  - ◆説明者：田中企画課長、中井主幹(スマートシティ推進担当)
- 

### ◆審議事項

岸和田市スマートシティ構想策定に係る専門委員会の設置について・・・企画課⇒承認

---

### ◆審議概要

◎付議依頼書等に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤副市長〉岸和田市スマートシティ構想は、年内に案の策定まで行うこと。哲学と柱をしっかりと書き込んでほしい。

行政DXとの連携は必ず行うこと。スマートシティは、市民生活に係る“まちづくり”であり、「将来ビジョン・岸和田」で謳っている「誰もが“幸せ”を感じる都市」、Well-being向上をめざすためのものであることを意識し進めてほしい。スマートシティを分野別にとすると、産業・観光・交通等さまざまであるが、とりわけ環境、脱炭素との関連は重要であり、本市においても積極的に取り組もうとしているところなので、市民環境部との連携は不可欠。パンダバンブープロジェクトも今年度から本格的に建設事業が始まる予定なので、ゆめみヶ丘でのスマートシティの取組の中で、カーボンニュートラルをぜひ中核的に行ってほしい。カーボンニュートラルについては熱心な企業もあるので、企業と連携し、まちづくり推進部とともに、目に見える形でスマートシティを実現させてほしい。

まちづくり推進部の進めるモビリティに係る取組についても、全国的にも良い評価をいただいているので、スモールステップを積み重ねながら進めてほしい。

OZCaF（OSAKA ゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーション）との連携など、新たな切り口もありうる。スマートシティはまちづくりであり、カーボンニュートラルに資するものであることを全面的に押し出してほしい。

〈教育長〉スマートシティについて、市民の方々がイメージしやすい説明ができるようにしておくこと。

〈中井主幹〉スマートシティは民間との連携の中で新たなサービスを活用していくものであり、民間事業者の技術をまちづくりに活かしていくもの。

〈財務部長〉「民間事業者が参画する『（仮称）岸和田市スマートシティ推進協議会』の設立を進める」とあるが、具体的にどのような事業者がどのような内容で参画することをイメージしているか。

〈中井主幹〉構想策定の中で、市の課題や方向性を整理したうえで、その課題解決につながる事業

者を募っていく予定。

〈財務部長〉構想の策定にあたっては、市民生活に直接関わるものになるため、市民にまず見てもらえるよう平易な資料づくりを心掛け、市民と意識を共有できることを意識して進めてほしい。

〈総務部長〉現在、スマートシティ推進委員会の部会の1つであるデータ連携ワーキンググループの構成委員は総合政策部長と総務部長が想定されているが、人流データの活用等は他部にまたがることもあるのではないかと。ワーキンググループの構成は柔軟に展開できるようにしたほうがよいのではないかと。

〈中井主幹〉段階に応じて見直しを行っていく。また、情報収集等は部会に縛られず行っていく予定である。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認し、政策決定会議に付議する。

令和5年4月 26 日

## 政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

### 記

付議事項名	岸和田市スマートシティ構想策定に係る専門委員会の設置について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	岸和田市スマートシティ構想の策定に係る検討を進めるため、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 15 条の規定に基づき、政策決定会議の専門委員会として、「岸和田市スマートシティ推進委員会」を設置することについて付議するものです。
説明者	田中 企画課長 中井 主幹
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和5年度 第1回会議
付議事項	岸和田市スマートシティ構想策定に係る専門委員会の設置について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	ICTなどの先端技術を活用して、都市課題を解決し、持続可能な都市をめざすスマートシティの推進に向けて、岸和田市スマートシティ構想を策定する。効果的かつ効率的な市政運営実施のための庁内会議体として、岸和田市スマートシティ推進委員会の設置を行う。

★総合計画上の位置付け

<b>6020202</b>	基本目標	みんなでつくる持続可能なまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	持続可能で信頼される行政になっている
	個別目標の方向性	② 適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める
	行政の役割	広域的視点をもって、時代に応じた施策を積極的に推進する

★現状と課題

国では、IoT、AI、ビッグデータ等の先端技術を利用し、都市課題の解決や都市機能の効率化に活かそうとする「スマートシティ」の推進を進めており、本市においても、将来ビジョン・岸和田において、分野横断的にICT・先端技術を活用して将来像の実現を図ることとしている。現在、大阪府スマートシティパートナーズフォーラム(OSPF)に参加し、個別の取組を進めているが、今後、分野横断的かつ計画的に推進するため、スマートシティの方向性を示すものとして、岸和田市スマートシティ構想を策定する必要がある。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
岸和田市スマートシティ構想策定支援業務委託			13,200					
岸和田市スマートシティ構想の見直し							13,200	
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源			13,200				13,200
	その他							
事業費	計			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
			13,200	0	0	0	13,200	0

★当該事項に関連する人員増の必要性\*

人員増の必要性	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
(有) 無	1	0	0	0	0

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度	目標値				
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
① 協議会参加団体数	団体			0	3	6	10		
② 実装サービス数	件			0	0	1	2		

※事業費及び人員を確約するものではない。